科目名	成人看護学特講Ⅱ	分野・必選別・単位数	専門科目（成人看護学）	選択必修	2単位

担当教員	◎教授　南川雅子					科目ナンバー	T2C106
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	学生が興味を持っている研究領域を明確にし、文献検討を通して研究テーマを絞り込む。
授業の到達目標	学生が興味を持っている研究領域に関連する文献を幅広く収集して文献検討を行うことができる。 研究テーマを絞り込むことができる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	南川　雅子　教　授	科目概説、興味のある研究領域① 学生が興味を持っている研究領域を明確にできる。
2	南川　雅子　教　授	興味のある研究領域② 学生が興味を持っている研究領域を明確にできる。
3	南川　雅子　教　授	文献検索① 学生が興味を持っている研究領域には、どのような文献があるのか検索できる。
4	南川　雅子　教　授	文献検索② 学生が興味を持っている研究領域には、どのような文献があるのか検索できる。
5	南川　雅子　教　授	文献のクリティーク① 2編の文献をとりあげ、クリティークできる。
6	南川　雅子　教　授	文献のクリティーク② 2編の文献をとりあげ、クリティークできる。
7	南川　雅子　教　授	文献の分類 キーワードをもとに、収集した文献を分類できる。
8	南川　雅子　教　授	文献検討① 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
9	南川　雅子　教　授	文献検討② 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
10	南川　雅子　教　授	文献検討③ 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
11	南川　雅子　教　授	文献検討④ 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
12	南川　雅子　教　授	文献検討⑤ 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
13	南川　雅子　教　授	文献検討⑥ 分類したカテゴリーごとに要点をまとめることができる。
14	南川　雅子　教　授	文献検討まとめ これまでの研究で解明されていることと課題について説明できる。
15	南川　雅子　教　授	研究テーマ 文献検討の結果を踏まえて、研究テーマについて自らの考えを述べることができる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	各授業の行動目標に従ってプレゼンテーションできるように資料を作成する。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書や文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	必要に応じて適宜提示する。
参考書	必要に応じて適宜提示する。
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションと質疑応答50％、課題レポート50％により評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。

科目名	成人看護学特講Ⅱ	分野・必選別・単位数	専門科目（成人看護学）	選択必修	2単位

担当教員	◎教授　林さとみ					科目ナンバー	T2C106
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義

授業の概要	成人看護学特論Ⅰで学んだ理論や概念を基盤として、学生各自がテーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性に適用可能な既存の概念モデルについて検討する。
授業の到達目標	1．研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性を明確にできる。 2．研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性に適用可能な既存の概念モデルを選択できる。 3．研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性に照らし、選択した既存の概念モデル適用の妥当性を検討できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	林　さとみ　教　授	科目概説を理解し、説明できる。
2	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象の整理し、明確にする。＃1
3	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象の整理し、明確にする。＃2
4	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性について、明確にできる。＃1
5	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性について、明確にできる。＃2
6	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性について、明確にできる。＃3
7	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性について、明確にできる。＃4
8	林　さとみ　教　授	研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性について、明確にできる。＃5
9	林　さとみ　教　授	適用可能な既存の概念モデルを選出し、その特性を明確にできる。＃1
10	林　さとみ　教　授	適用可能な既存の概念モデルを選出し、その特性を明確にできる。＃2
11	林　さとみ　教　授	適用可能な既存の概念モデルを選出し、その特性を明確にできる。＃3
12	林　さとみ　教　授	適用可能な既存の概念モデルを選出し、その特性を明確にできる。＃4
13	林　さとみ　教　授	適用可能な既存の概念モデルを選出し、その特性を明確にできる。＃5
14	林　さとみ　教　授	まとめ 研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性と適用可能な既存の概念モデルを比較できる。
15	林　さとみ　教　授	まとめ 研究テーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性と適用可能な既存の概念モデルを評価できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	必要に応じて適宜提示する。
参考書	必要に応じて適宜提示する。
成績評価の方法および基準	プレゼンテーション25％、討論への参加状況と内容25％、課題レポート50％により評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。